

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第200号	氏名	平山 輝久
学位審査委員	主査 久恒 邦博 副査 林 善彦 副査 吉田 教明		
論文審査の結果の要旨			
1. 研究目的の評価			
<p>混合有機酸溶液中における純チタンからのイオン溶出から、チタンアレルギーの可能性について明らかにしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
2. 研究手法に関する評価			
<p>市販純チタンの試料を唾液と等比率に調整した2種類の有機酸混合溶液と乳酸溶液に浸漬し、イオン溶出量測定、重量変化量測定、走査電子顕微鏡による表面の観察を行い、アレルギーとの関連性を検討しており、研究方法も妥当である。</p>			
3. 解析・考察の評価			
<p>上記方法で解析した結果、一般に溶出試験に用いられる乳酸溶液中よりも唾液と等比率の有機酸溶液中に浸漬した方が溶出量や重量減少量が大きいことが明らかになった。本研究の結果は、口腔内でのチタンの腐食挙動、ひいてはチタンアレルギーを解明する上での一助となり、今後の展開が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は金属アレルギーに関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(歯学)の学位に値するものと判断した。</p>			